



埼玉県マスコット「コバトン」

## 埼玉県共助SDGs

# コバトン記者団通信

本通信では、令和3年度共助SDGsコバトン記者団の団員たちが活動終了後に作成した活動レポートを発信していきます！

## 第3回活動

### 三富今昔村でのリサイクル工場と里山見学

11月23日(火曜日)三富今昔村にて、共助SDGsコバトン記者団第3回目の活動としてリサイクル工場と里山見学プログラムに参加しました。

リサイクル工場では、廃棄物が分別を繰り返すことにより新たな資材に生まれ変わる工程を実際に見せていただき、リサイクルの重要性を改めて学ぶことができました。

地域で助け合いながらSDGs達成に向けた活動を行うためには何ができるのかみんなで考えました。



なお、詳細については、本事業受託者である株式会社シュケットのホームページに活動報告を掲載しておりますので、下記URLよりご覧ください。

[https://www.chouquette.co.jp/kobatonkisyadan\\_report03/](https://www.chouquette.co.jp/kobatonkisyadan_report03/)

## 団員の活動レポート

※活動後に参加者が作成したレポートから抜粋しています。

### 今回の活動のまとめ・感想

- リサイクル工場の仕組み・工夫などがよく分かった。また、ゴミの分別など日常生活のなにげない動作でもリサイクルに貢献できるのだということが分かった。
- リサイクルできるものを増やすために、何回も分別したり、ふるいにかけてたり、大変な作業を人間と機械が協力して行っていることが分かりました。



- 小学生のころの社会科見学で、リユース工場には行ったことがあったけど、リサイクル工場の見学は初めてだったので、リサイクルできる種類がたくさんあったり、分別を人の手でやっていたりすることにとても驚きました。
- 会社内に「保全グループ」があり、壊れたらすぐ新しいもの買い替えるのではなく、壊れた箇所を特定して修理をして長く使用するという考えに感心した。

## 未来の環境を守るために、地域で取り組むことができること

- ゴミを出すとき、必ず決められた種類に分別するように分別ポスターを作る。ポスターには、お年寄りが理解しやすいようにイラストをいれたり、外国人が分かるように英語や中国語などの翻訳も記載する。
- リサイクルされた商品を扱ったり買ったりしようと思った。
- 地域のバザーなどを行い、ゴミとして捨てられるものを減らす。
- 地域の公園などのゴミ箱の分別表示を守る。
- なるべく車を使わずに出かける呼びかけをする。
- 学校でいらないプリントをつつい丸めてゴミ箱へ捨ててしまっているの、「紙はこの箱の中へ」などと決めれば、ゴミの量も少しは減らせるのではないかと思った。
- 木を伐りすぎない。ゴミをちゃんと分別してリサイクルできるものはリサイクルする。
- 里山にあった「小さな図書館」のように地域のコミュニティセンター（公民館など地域の人と交流できる場所）で不要なものを捨てるのではなく、必要としている人に渡し再利用をする取り組みなどをする。



お問合せ先

主催/埼玉県県民生活部共助社会づくり課 受託/株式会社シュケット

TEL 048-830-2819 FAX 048-830-4751